

# 自動車の購入に係る契約について

## ■ 基本的な考え方

- 購入価格と環境性能(燃費)を総合的に評価し、最も優れた提案をした者と契約(総合評価落札方式)

## ■ 総合評価落札方式

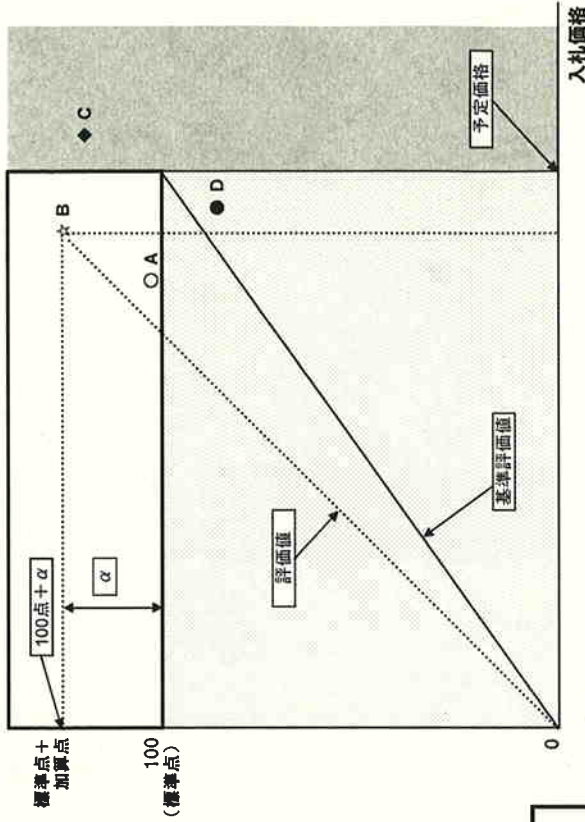
評価が最も高い者が落札者

要求要件を満足すると100点

例えば、燃費1km/リットルについて2.5点を加算(要求要件を0点)

$$\text{評価値} = \frac{\text{得点}}{\text{価格点}} = \frac{\text{標準点} + \text{加算点}}{\text{価格点}}$$

例えば、1万円を1点にするなど入札価格を点数化



■ 要件①を満足しない領域 (入札価格が予定価格を超過)  
 ■ 要件②を満足しない領域 (「最低限の要求水準」を満たさない)  
 例えば、Cは予定価格を超過、Dは標準点の状態を満たしていない。  
 Aは標準評価値を上回るが、評価値がBを下回る。よって、Bが落札者となる。

## ■ 具体例

車名	燃費 (km/リットル)	価格点 (1点/万円)	得点	評価値	順位
①	29.6	263	144.8	0.551	2
②	12.8	193	102.8	0.533	3
③	12.8	225	102.8	0.457	4
④	25.7	242	135.0	0.558	1
⑤	12.2	224	101.3	0.452	5

評価値が最も高い車名④を提案したものと契約

# 省エネルギー改修事業に係る契約について

## ◇国の機関で停滞しているESCO事業の推進

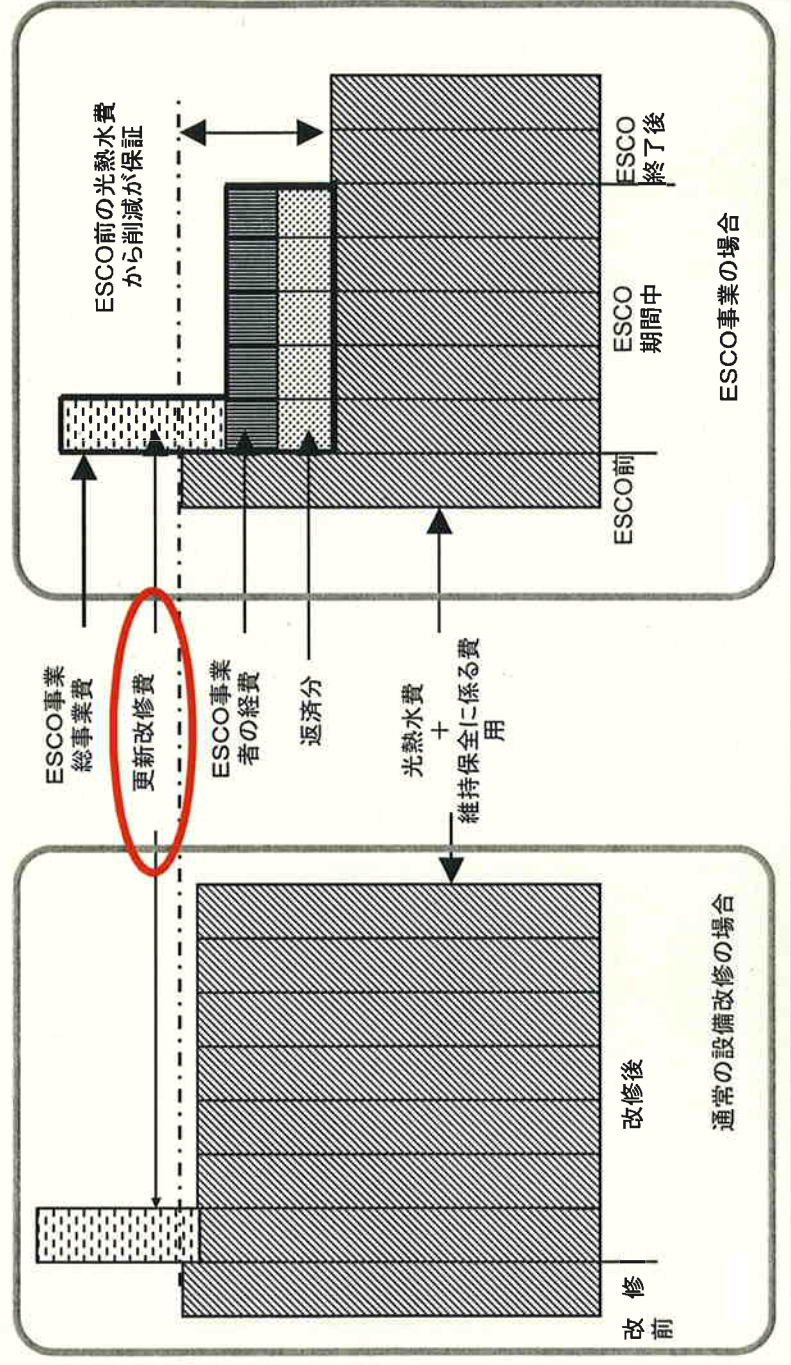
○ 債務負担行為の延長(5→10年)

長期共用計画の立案を的確に実施し、リスク回避

○ **設備更新型ESCO事業の導入**(設備更新と同時に実施)

## 設備更新型 ESCO事業

- 設備の大規模更新時に確実に検討
- 事業規模の拡大により事業性向上



# 建築物に係る契約について

## ◇最も影響の大きい設計について環境配慮

- 環境配慮型プロポーザル方式の導入
- 環境保全性能を定めた発注
- 設計成果のLCCO2ベースでの評価（環境プロポ採用時）

### 設計による差は極めて大きい （標準的な庁舎でも10%程度）

